

2023年9月7日
一般社団法人日本印刷産業連合会

—2023 グリーンプリンティング（GP）認定制度 3 賞決定—
【GP 環境大賞・GP マーク普及大賞・GP 資機材環境大賞】

一般社団法人日本印刷産業連合会（東京都中央区、会長：北島義斉、略称：「日印産連」）は、グリーンプリンティング（GP）認定制度の2023年度「GP 環境大賞」、「GP マーク普及大賞」、「GP 資機材環境大賞」の受賞者を決定しました。表彰式は2023年10月18日（水）にDNP左内町ビル・ホールにおいて実施する予定です。

日印産連では、SDGsが社会の共通目標となるなか、環境関連の目標を実現するため、印刷業界の環境配慮自主基準を達成した工場・事業所を認定するとともに、同基準に適合した印刷製品への「GP マーク」表示、並びに印刷工場が使用する資機材の認定など、印刷総合環境配慮制度「GP 認定制度」の取り組みを進めています。

GP 環境大賞は、印刷業界が地球環境への負荷低減に取り組むために創設した GP 認定制度に対して、深く理解し積極的に活用していただいている企業や団体に敬意と感謝の意を込めて贈るものです。2023 GP 環境大賞は、2022 年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）に GP マークを表示した印刷製品をより多く発注した企業・団体を表彰します。

また、パッケージを中心に GP マーク表示が拡大する中、表彰の対象を一般印刷とパッケージ印刷の2部門に分けるとともに、過去3回 GP 環境大賞を受賞した企業・団体には、4回目の表彰時にその活動に対して最大の賛辞と敬意を表すために「GP 環境大賞ゴールドプライズ」を贈呈しています。

GP マーク普及大賞は、GP マーク表示にもっとも貢献した GP 認定工場を他の模範として、会社単位で表彰するものです。2023 GP マーク普及大賞は、2022 年度に GP マーク表示印刷製品をより多く受注・製造した印刷会社を表彰します。本賞は、オフセット印刷部門、グラビア・シール・スクリーン印刷部門、製本・表面加工部門の3部門に分けて表彰します。なお、過去3回以上 GP マーク普及大賞を受賞した印刷会社で継続的な実績が認められた場合には、最大の賛辞と敬意を表すために、今回から新たに「GP マーク普及大賞ゴールドプライズ」を新設し、贈呈することになりました。

さらに、今回から、GP 認定制度の普及・拡大に特別な貢献が認められた企業・団体に対して「GP 環境大賞特別賞」、「GP マーク普及大賞特別賞」を贈呈することになりました。

GP 資機材環境大賞は、印刷工場の環境負荷低減及び作業環境改善に貢献し、GP 資機材認定製品を積極的にご提供いただいている資機材メーカーに贈るもので、2023年4月1日時点でGP 資機材認定製品の登録がもっとも多い資機材メーカーを資材、機材の部門別に表彰します。なお、本賞については、過去に同部門を受賞したメーカーは選考対象外となります。

関連 URL <https://www.jfpi.or.jp/greenprinting/>

2023 GP 認定制度 3 賞の受賞企業・団体は次のとおりです。

(各賞とも五十音順)

【GP 環境大賞】

2023GP 環境大賞ゴールドプライズ (本年度は該当なし)

[過去受賞企業・団体]

NTT タウンページ株式会社、大阪商工信用金庫、株式会社タカラトミー、東京都

<一般印刷の部>

2023GP 環境大賞 (3 社)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、東武鉄道株式会社、日本航空株式会社

2023GP 環境準大賞 (5 社・団体)

社会福祉法人恩賜財団済生会、株式会社ジェイアール東日本企画、全国間税会総連合会、株式会社ポスティングセンター沖縄、HOYA 株式会社 アイケアカンパニー

<パッケージ印刷の部>

2023GP 環境大賞 (1 社)

株式会社あわしま堂

2023GP 環境準大賞 (2 社)

国分グループ本社株式会社、竹下製菓株式会社

2023GP 環境大賞特別賞 (1 社)

プレミアアンチエイジング株式会社

【GP マーク普及大賞】

2023GP マーク普及大賞ゴールドプライズ (2 社)

NTT 印刷株式会社、六三印刷株式会社

<オフセット印刷部門>

2023GP マーク普及大賞 (3 社)

株式会社笠間製本印刷、株式会社文伸、丸正印刷株式会社

2023GP マーク普及準大賞 (6 社)

あさひ高速印刷株式会社、伊藤印刷株式会社、岩岡印刷工業株式会社、株式会社大川印刷、精英堂印刷株式会社、株式会社太陽堂印刷所

＜グラフィア・シール・スクリーン印刷部門＞

2023GP マーク普及大賞 (1社)

株式会社北四国グラフィア印刷

2023GP マーク普及準大賞 (1社)

株式会社巧芸社

＜製本・表面加工部門＞

2023GP マーク普及大賞 (1社)

TAD クロスメディア株式会社

2023GP マーク普及大賞特別賞 (本年度は該当なし)

【GP 資機材環境大賞】

＜資材部門＞

2023GP 資機材環境大賞 (1社)

ウエノ株式会社

＜機材部門＞

2023GP 資機材環境大賞 (1社)

富士フィルム株式会社

※過去同部門の受賞メーカーは選考の対象になっていません。

本表彰を通じて SDGs の目標である「つくる責任使う責任」の実現に寄与する印刷製品への環境配慮が促進され、GP 認定制度・GP マークの認知度が一層向上するものと期待しています。なお、今回の結果は日印産連のホームページをはじめ、さまざまな機会に広報してまいります。

◎2023 各賞受賞のロゴマーク

	ゴールドプライズ	大賞	準大賞	特別賞
環境大賞				
GP マーク普及大賞				
資機材環境大賞				

【GP マーク表示印刷製品例】

©2023GP 環境大賞（一般印刷の部）

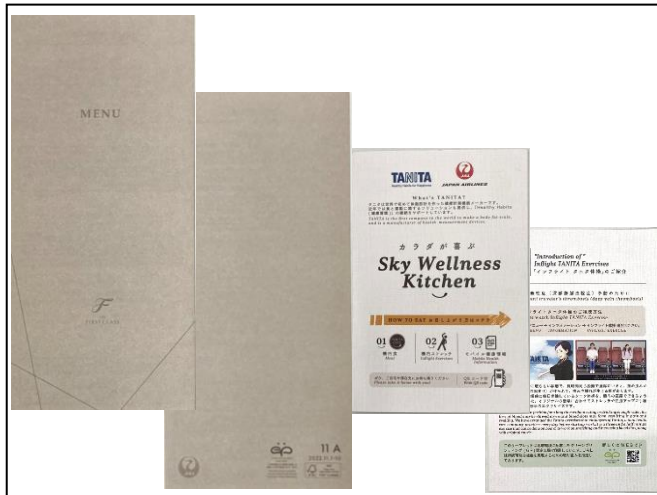
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



東武鉄道株式会社



日本航空株式会社



©2023GP 環境大賞（パッケージ印刷の部）

株式会社あわしま堂



【資料】

<グリーンプリンティング認定制度について>

2006年に印刷産業の環境負荷削減をめざして創設。本年は創設18年目を迎え、活動しているGP認定工場は全国442工場（2023年8月末現在）となりました。環境省策定・発行の「グリーン購入の調達者の手引」、「プレミアム基準策定ガイドライン」、「環境表示ガイドライン」、そして「東京都グリーン購入ガイド」において、本制度の活用が取り上げられています。また、その他の地方自治体や民間企業においても印刷の発注先としてGP認定工場が推奨されるなど、社会的信頼を得た業界初の認定制度として業界内外から広く注目を集めています。

<GPマークについて>

GPマークは、紙やインキ等の印刷資材だけでなく、印刷工程も含めてグリーン基準を満たしていることを示す総合環境ラベルで、GP認定工場が製造した印刷製品のみに表示できるものです。環境配慮のレベルによりワンスター（★）からスリースター（★★★）までの3段階があります。GPマークは、総合環境ラベルとして、官公庁の発行物、CSRレポートから一般のパンフレットなどさまざまな印刷製品に利用されています。年間約1900社が印刷製品にGPマークを表示し、累計では約10億2千万部を超えるGPマーク表示印刷製品が製造されており（2023年3月末現在）、環境に配慮した印刷製品づくりに貢献しています。



GPマーク例

（お問い合わせ先）※表彰式のご取材の際は下記担当者までご一報いただくと幸いです。

一般社団法人日本印刷産業連合会 GP認定事務局 宮田、坂本

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館8階

TEL : 03-3553-6123 E-mail : gp-nintei@jfpi.or.jp